

体験型ワーク満載！／防災体験・炊き出し訓練も！

令和8年度

～ボランティア広場～

今年のテーマは「防災ボランティア」！

被災地見学や炊き出し訓練、防災食の食べ比べなど、
仲間と一緒に楽しく学べる3日間の体験型プログラムです。
初心者的一步を応援します！

STEP 1

防災すごろく
& 防災食体験

STEP 2

伝承館見学
& 炊き出し訓練

STEP 3

仲間と
グループワーク



期間：令和8年8月3日（月）～5日（水）10:00～15:00

定員：20名（先着順）

対象：高校生～**25歳**まで

場所：①中区地域福祉センター（中区大手町4丁目1-1）

②広島市豪雨災害伝承館（安佐南区八木3丁目24-23）

参加費：**無料**

内容：詳細は裏面をご覧ください

↓参加申し込みはこちらから！



申し込み締め切り：**7月17日（金）**

主催：広島市中区社会福祉協議会

<問い合わせ先>

TEL：082-249-3114（担当：松岡、正木）

Mail：naka@shakyohiroshima-city.or.jp

1日目：8/3（月）10：00～15：00

中区地域福祉センター

ボランティア基礎講座、防災すごろく、防災食食べ比べ



2日目：8/4（火）10：00～15：00

広島市豪雨災害伝承館

※JR可部線 梅林駅集合・解散

伝承館見学、かまどベンチ炊き出し、被災地見学



3日目：8/5（水）10：00～12：00

中区地域福祉センター

グループワーク、まとめ



【特別講師】向 はるか氏

NPO法人IMAGINUS 理事

【略歴】 防災士 / 産業カウンセラー

広島大学教育学部卒業。

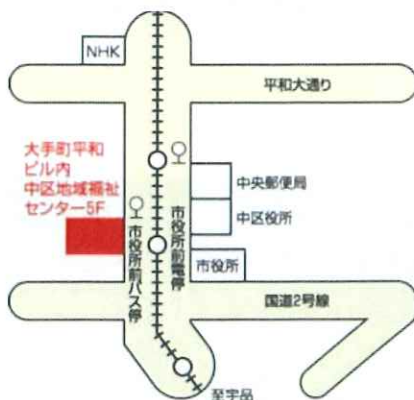
18歳で東日本大震災のボランティアを経験して以来、全国各地の災害現場で災害ボランティアセンターの運営支援や広島の大学生を被災地へ派遣する活動のコーディネートに携わる。

2014年の広島土砂災害での被災経験を機に、防災士資格を取得。被災地支援と平時からの防災の両輪で活動を続けている。



①中区地域福祉センター

(広島市中区大手町4丁目1-1)



②広島市豪雨災害伝承館

(広島市安佐南区八木3丁目24-23)



令和8年度ボランティア広場 開催要項

1 趣旨等

25歳までの青少年を対象に、福祉に関する啓発・理解の促進やボランティア活動人材の育成を目指し、体験を通じて、思いやり・助け合いの意義やボランティア活動を考えるきっかけづくりの場として「ボランティア広場」を毎年開催している。

今年度は、災害という視点からボランティアのきっかけづくりの場として開催する。広島過去の災害を学び、災害時の具体的スキルを習得するプロセスを通じ、防災を「自分事」として捉える機会とする。さらに、被災時における配慮（傾聴・情報保障等）を学ぶことで、日常の福祉活動（高齢者・障害者支援等）への関心を高め、継続的なボランティア活動へのつながりを図るものである。

- 2 日 時 令和8年8月3日（月）～令和8年8月5日（水）の3日間。
- 3 会 場 ①中区地域福祉センター ②広島市豪雨災害伝承館
- 4 対 象 高校生以上25歳未満の方
- 5 募集人数 20名
- 6 参加費 無料（※要検討）
- 7 内容等

日程	テーマ	主な内容	狙い（手法）
8/3（月） 1日目	【知る】	・自己紹介 ・防災すごろく ・昼食：防災食食べ比べ ・2日目への導入 ・【+α災害ボランティア】	・ボランティアの基礎を学ぶ。 ・参加者同士の親睦深める。 ・災害とはどういう状況かを知る。
8/4（火） 2日目	【感じる】	・豪雨災害伝承館の見学 ・かまどベンチで炊き出し ・語り部による伝承 など	・実際の被災現場やリアルな状況を知る。 ・災害時に役立つ知識を実践的に学ぶ。
8/5（水） 3日目	【つなげる】	グループワーク案：未定	・災害で学んだことから、日常では、何が できるのか考える。 ・そして、自分にできることは何かを考えて てもらう。

8 広 報 チラシ配布、中区社協HP、Facebook

9 主 催 広島市中区社会福祉協議会

10 申込方法 QRコード、電話またはEメール

11 問合せ先 広島市中区社会福祉協議会（担当：松岡、正木）

〒730-0051

広島市中区大手町 4-1-1 大手町平和ビル5階（中区地域福祉センター内）

TEL 082-249-3114 / FAX 082-242-1956

Email naka@shakyohiroshima-city.or.jp